

科目名 オホーツク水産生物学特論実験(一) (2単位)

担当者氏名 白井 滋、千葉 普

◆学習・教育目標

「オホーツク水産生物学特論(一)」でテーマとする基礎生物学的な探求を図ることを目的とし、例題的な実験・解析(集団遺伝や生態学などに関する課題)を実施する。同時に、実験結果を正しく解釈するための解析方法について、実践的な演習を行う。これらの実験演習と平行して、関連する分野における現状を理解するための論文紹介・輪読等を行い、討論を実施する。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

生物の存在様式

集団遺伝学

系統地理学

保全生物学

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テ ー マ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-7回	生物多様性の理解(白井)	生物多様性、特に遺伝的多様性に関する論文の紹介、輪読を行い、その実際を学ぶ。	
8-15回	集団解析(白井)	集団解析の理論と解析手法について、実際のデータを使用しながら、基礎と応用を学ぶ。	
16-24回	生態系の保全(千葉)	生態系保全に関する実験を行うとともに、論文紹介を行い、その基礎と実際を学ぶ。	
25-30回	実践演習(千葉)	実際の研究計画から実験、解析、結果解釈までの流れを体験する。結果について、発表と討論を行う。	

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

必要に応じて資料を配布。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

その都度、紹介する。

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

レポート、学生による発表実技により評価を実施。

◆その他受講上の注意事項
